

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
 コード番号 8729 URL <https://www.sonyfh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 茂
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 長谷川 康生 TEL 03-5290-6500 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,426,011	26.3	81,224	9.7	54,888	8.7
2019年3月期第3四半期	1,129,323	△4.0	74,026	49.5	50,489	18.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 48,578百万円 (25.9%) 2019年3月期第3四半期 38,572百万円 (△20.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	126.17	126.14
2019年3月期第3四半期	116.06	116.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,538,385	678,347	4.6
2019年3月期	13,468,215	656,846	4.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 675,992百万円 2019年3月期 654,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,860,000	14.2	103,000	9.7	68,000	9.5	156.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	435,087,405株	2019年3月期	435,062,983株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	37,469株	2019年3月期	37,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	435,039,137株	2019年3月期3Q	435,013,160株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績見通し等の将来に関する記述のご利用に当たっての注意事項等については、11ページの「注意事項」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	4
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10
2. 補足情報	
2019年度第3四半期(9カ月累計)連結業績およびソニー生命の2019年12月末MCEV	12

※ 当社は、2019年度第3四半期連結業績についての機関投資家・アナリスト向けのカンファレンスコールを以下のとおり開催する予定です。当カンファレンスコールの様態については、開催後に質疑応答の要旨を当社ホームページ(下記URL ご参照)に掲載するとともに、音声配信も行う予定です。

「2019年度第3四半期連結決算説明会」
(2019年度第3四半期連結業績およびソニー生命の2019年12月末MCEV)

開催予定日時 : 2020年2月13日(木) 15:30～

当社ホームページURL : <https://www.sonyfh.co.jp/>

※ ソニー生命保険株式会社(以下「ソニー生命」)、ソニー損害保険株式会社(以下「ソニー損保」)、ソニー銀行株式会社(以下「ソニー銀行」)は、本日それぞれ2019年度第3四半期業績(9カ月累計)を発表しておりますので、各社ホームページも併せてご参照ください(当社ホームページからもご参照いただけます)。

ソニー生命ホームページURL : <https://www.sonylife.co.jp/>

ソニー損保ホームページURL : <https://www.sonysonpo.co.jp/>

ソニー銀行ホームページURL : <https://sonybank.net/>

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	415,894	456,029
コールローン及び買入手形	93,700	91,400
買入金銭債権	4,916	6,461
金銭の信託	291,324	285,457
有価証券	10,373,188	11,241,225
貸出金	1,942,546	2,079,134
有形固定資産	104,128	105,518
無形固定資産	43,909	45,876
再保険貸	1,341	829
外国為替	8,471	9,346
その他資産	159,361	181,399
退職給付に係る資産	3,476	3,879
繰延税金資産	27,556	33,470
貸倒引当金	△1,602	△1,642
資産の部合計	13,468,215	14,538,385
負債の部		
保険契約準備金	9,479,071	10,143,169
支払備金	78,285	79,696
責任準備金	9,396,241	10,059,004
契約者配当準備金	4,544	4,468
代理店借	2,073	1,783
再保険借	5,769	4,611
預金	2,302,313	2,432,043
コールマネー及び売渡手形	130,611	170,612
借入金	203,871	203,929
外国為替	244	580
社債	20,000	20,000
その他負債	578,477	793,876
賞与引当金	4,377	2,176
退職給付に係る負債	34,081	34,830
特別法上の準備金	50,343	52,313
価格変動準備金	50,343	52,313
繰延税金負債	24	2
再評価に係る繰延税金負債	109	109
負債の部合計	12,811,368	13,860,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,963	19,994
資本剰余金	191,193	191,224
利益剰余金	319,886	347,586
自己株式	△55	△55
株主資本合計	530,987	558,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,800	121,164
繰延ヘッジ損益	△1,077	△426
土地再評価差額金	△2,439	△2,439
退職給付に係る調整累計額	△1,470	△1,056
その他の包括利益累計額合計	123,812	117,241
新株予約権	149	198
非支配株主持分	1,896	2,157
純資産の部合計	656,846	678,347
負債及び純資産の部合計	13,468,215	14,538,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
経常収益	1,129,323	1,426,011
生命保険事業	1,004,462	1,293,408
保険料等収入	814,153	954,802
(うち保険料)	812,196	952,835
資産運用収益	145,506	288,077
(うち利息及び配当金等収入)	124,415	134,526
(うち金銭の信託運用益)	3,364	3,400
(うち売買目的有価証券運用益)	—	156
(うち有価証券売却益)	4,581	2,979
(うち為替差益)	13,145	—
(うち特別勘定資産運用益)	—	147,012
その他経常収益	44,803	50,528
損害保険事業	86,296	90,523
保険引受収益	84,748	88,877
(うち正味収入保険料)	84,699	88,818
(うち積立保険料等運用益)	48	58
資産運用収益	1,503	1,619
(うち利息及び配当金収入)	1,025	1,005
(うち有価証券売却益)	526	672
(うち積立保険料等運用益振替)	△48	△58
その他経常収益	44	26
銀行事業	33,580	36,529
資金運用収益	23,598	25,520
(うち貸出金利息)	13,036	13,941
(うち有価証券利息配当金)	10,509	11,524
役務取引等収益	6,406	8,249
その他業務収益	3,171	2,514
その他経常収益	404	244
その他	4,984	5,550
その他経常収益	4,984	5,550

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
経常費用	1,055,297	1,344,787
生命保険事業	946,398	1,228,852
保険金等支払金	344,334	379,875
(うち保険金)	69,873	72,765
(うち年金)	9,693	10,113
(うち給付金)	105,853	124,746
(うち解約返戻金)	148,589	162,222
(うちその他返戻金)	2,811	2,657
責任準備金等繰入額	423,685	655,518
支払備金繰入額	431	907
責任準備金繰入額	423,253	654,611
契約者配当金積立利息繰入額	0	0
資産運用費用	32,425	32,739
(うち支払利息)	1,050	3,761
(うち売買目的有価証券運用損)	286	—
(うち有価証券売却損)	34	50
(うち有価証券評価損)	4,026	2,991
(うち金融派生商品費用)	784	19,557
(うち為替差損)	—	3,117
(うち特別勘定資産運用損)	22,800	—
事業費	107,039	114,689
その他経常費用	38,913	46,029
損害保険事業	78,332	82,303
保険引受費用	58,049	60,975
(うち正味支払保険金)	42,031	44,968
(うち損害調査費)	6,025	6,476
(うち諸手数料及び集金費)	934	876
(うち支払備金繰入額)	1,380	504
(うち責任準備金繰入額)	7,677	8,150
資産運用費用	1	0
営業費及び一般管理費	20,279	21,323
その他経常費用	3	4
銀行事業	24,884	27,143
資金調達費用	6,300	7,093
(うち預金利息)	4,865	5,697
役務取引等費用	4,338	5,156
その他業務費用	106	1
営業経費	13,849	14,806
その他経常費用	288	85
その他	5,681	6,487
その他経常費用	5,681	6,487
経常利益	74,026	81,224

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
特別利益	0	16
固定資産等処分益	0	0
その他特別利益	—	16
特別損失	1,694	2,285
固定資産等処分損	69	51
減損損失	10	15
特別法上の準備金繰入額	1,614	1,969
価格変動準備金繰入額	1,614	1,969
その他特別損失	—	249
契約者配当準備金繰入額又は戻入額(△)	△63	234
税金等調整前四半期純利益	72,395	78,720
法人税及び住民税等	23,153	26,912
法人税等調整額	△1,437	△3,340
法人税等合計	21,716	23,572
四半期純利益	50,679	55,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	190	259
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,489	54,888

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	50,679	55,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,451	△7,855
繰延ヘッジ損益	△61	650
退職給付に係る調整額	404	415
持分法適用会社に対する持分相当額	—	220
その他の包括利益合計	△12,107	△6,569
四半期包括利益	38,572	48,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,380	48,317
非支配株主に係る四半期包括利益	191	260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、クレジットカード決済事業会社であるSmartLink Network Europe B.V.が、新規設立により、第2四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含まれております。同社の業績については、四半期連結損益計算書上、「銀行事業」に含めて区分しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益(注2)						
(1) 外部顧客への経常収益	1,004,462	86,296	33,580	1,124,339	4,984	1,129,323
(2) セグメント間の内部経常 収益	2,152	0	186	2,340	—	2,340
計	1,006,615	86,296	33,767	1,126,679	4,984	1,131,663
セグメント利益	60,160	7,394	7,043	74,597	△697	73,899

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業及びベンチャーキャピタル事業であります。

(注2) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	生命保険 事業	損害保険 事業	銀行事業	計		
経常収益（注2）						
(1) 外部顧客への経常収益	1,293,408	90,523	36,529	1,420,461	5,550	1,426,011
(2) セグメント間の内部経常 収益	1,783	0	201	1,985	—	1,985
計	1,295,192	90,524	36,731	1,422,447	5,550	1,427,997
セグメント利益	66,276	7,607	8,148	82,031	△937	81,093

（注1）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業及びベンチャーキャピタル事業であります。

（注2）一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメント計	74,597	82,031
「その他」の区分の損益	△697	△937
事業セグメントに配分していない損益（注）	126	130
四半期連結損益計算書の経常利益	74,026	81,224

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社の100%連結子会社であるソニー生命保険株式会社（以下「ソニー生命」といいます。）は、ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社（以下「ソニーライフ・エイゴン生命」といいます。）及びSA Reinsurance Ltd.（以下「SA Re」といい、2社あわせて「両合弁会社」といいます。）の発行済株式の50%をそれぞれ取得し、両合弁会社を当社及びソニー生命の完全子会社としました。

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| ① 被取得企業の名称 | ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社 |
| 事業の内容 | 生命保険業 |
| ② 被取得企業の名称 | SA Reinsurance Ltd.（エス・エー・ラインシュアランス） |
| 事業の内容 | 再保険業 |

(2) 企業結合を行った主な理由

両合弁会社を完全子会社化することにより、経営の意思決定の迅速化や業務運営の効率化を図ります。

(3) 企業結合日

2020年1月29日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

- | | | |
|------------------|--------|--|
| ①ソニーライフ・エイゴン生命 | | |
| 取得直前に所有していた議決権比率 | 50.0% | |
| 企業結合日に取得した議決権比率 | 50.0% | |
| 取得後の議決権比率 | 100.0% | |
| ②SA Re | | |
| 取得直前に所有していた議決権比率 | 50.0% | |
| 企業結合日に取得した議決権比率 | 50.0% | |
| 取得後の議決権比率 | 100.0% | |

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

ソニー生命が現金を対価とした株式取得により、持分法適用関連会社である両合弁会社の全議決権を取得したことによるものです。

2 被取得企業（上記2社合計）の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	18,750百万円
取得原価		18,750百万円

3 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

当社の連結業績※は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

※当社の連結業績に含まれる対象会社は以下のとおりです。

連結：ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

ソニー生命保険株式会社

ソニー損害保険株式会社

ソニー銀行株式会社

ソニーペイメントサービス株式会社

SmartLink Network Hong Kong Limited

SmartLink Network Europe B.V.*1

ソニー・ライフケア株式会社

ライフケアデザイン株式会社

ブラウドライフ株式会社

ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社*1

SFV・GB投資事業有限責任組合*1

持分法適用：ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社*2

SA Reinsurance Ltd.*2

*1 ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社が2019年3月期 第2四半期連結会計期間より、SFV・GB投資事業有限責任組合が2019年3月期 第4四半期連結会計期間より、SmartLink Network Europe B.V. が2020年3月期 第2四半期連結会計期間より、新たに連結範囲に含まれております。

*2 2020年1月29日、ソニー生命保険株式会社がソニーライフ・エイゴン生命株式会社およびSA Reinsurance Ltd. の株式を取得し、両社は当社およびソニー生命株式会社の完全子会社となりました。

注意事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しの上に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

2. 補足情報

補足情報（プレゼンテーション資料）の目次

2019年度第3四半期（9カ月累計）連結業績 およびソニー生命の2019年12月末MCEV

2019年度第3四半期（9カ月累計）連結業績	3
2019年度 連結業績予想	18
2019年度 配当予想	20
ソニー生命の2019年12月末MCEV	22
Appendix	25

【プレゼンテーション資料】



2019年度第3四半期（9カ月累計）連結業績 およびソニー生命の2019年12月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2020年2月13日

AGENDA

2019年度 第3四半期（9カ月累計）連結業績	P. 3
2019年度 連結業績予想	P. 18
2019年度 配当予想	P. 20
ソニー生命の2019年12月末MCEV	P. 22
Appendix	P. 25

免責事項：

このプレゼンテーション資料に記載されている、ソニーフィナンシャルグループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーフィナンシャルグループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーフィナンシャルグループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。ソニーフィナンシャルグループはそのような義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

(注1) 本資料掲載情報は、特に記載のない限り、数値は表示単位未満は切捨て、比率や増減率は四捨五入で表示。

また、増減率が1,000%を超える場合や比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合は「-」表示。

(注2) 「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標。



2019年度第3四半期 (9カ月累計) 連結業績

決算のポイント

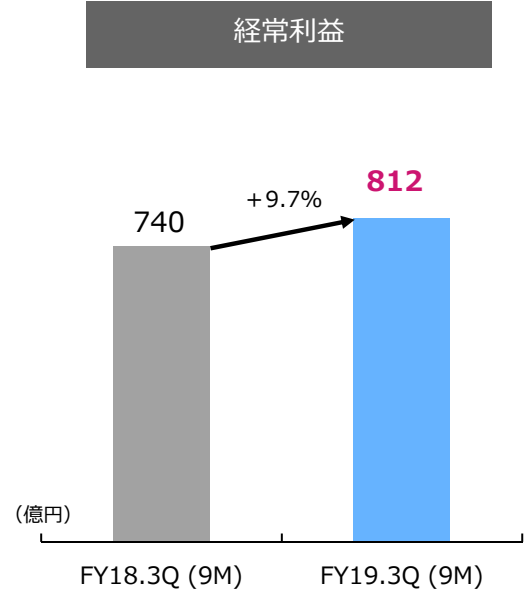
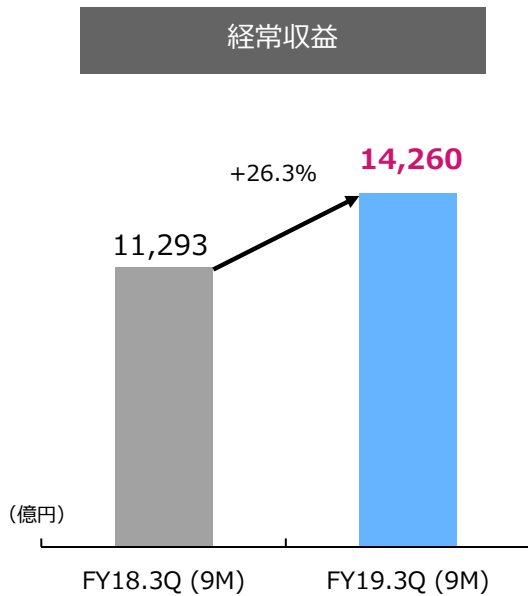


- ◆ 2019年度第3四半期（累計）の経常収益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が期初想定を上回り、通期予想を上方修正。
- ◆ 2019年度の配当予想を増額修正。今後の配当額については、連結修正利益の30%程度を目安に決定。
- ◆ ソニー生命の2019年度第3四半期（累計）の新契約高は、家族収入保険の販売減少により、前年同期に比べ減少。経常利益は、新契約獲得にかかる費用の減少や保有契約高の拡大などにより増益。

2019年度第3四半期3カ月間の新契約価値は、米ドル建一時払終身保険の料率改定や法人向け商品の販売再開により前四半期から増加。新契約マージンは、商品構成の変化などにより上昇。

連結業績ハイライト

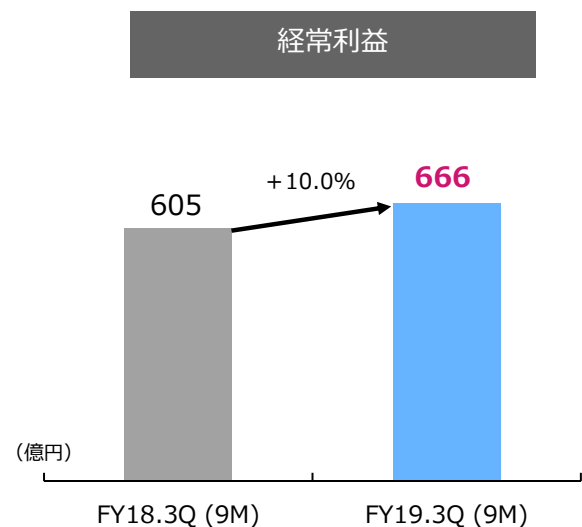
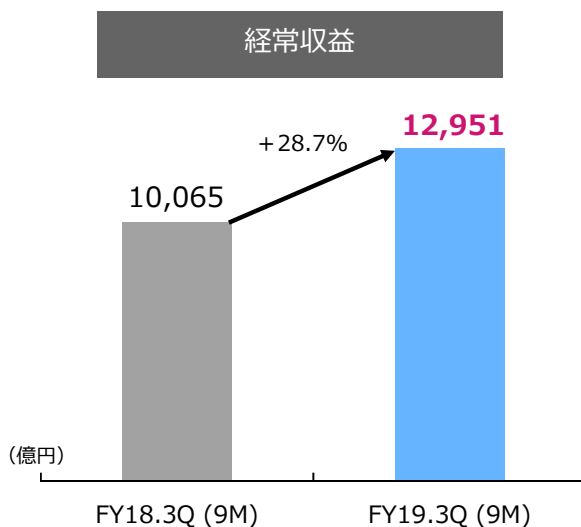
- ◆ 経常収益：生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において増加したことにより、前年同期比26.3%増加の1兆4,260億円。
- ◆ 経常利益：上記すべての事業で増加したことにより、前年同期比9.7%増加の812億円。



ソニー生命：業績ハイライト（単体）

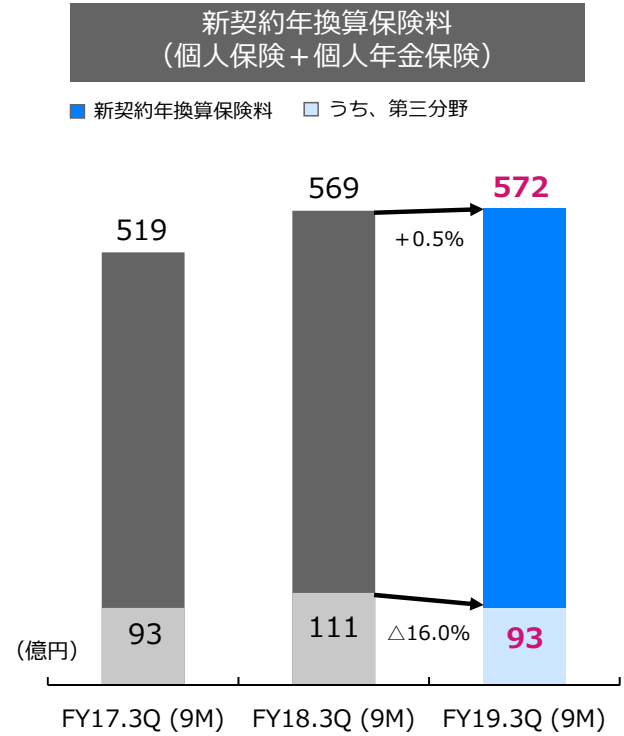
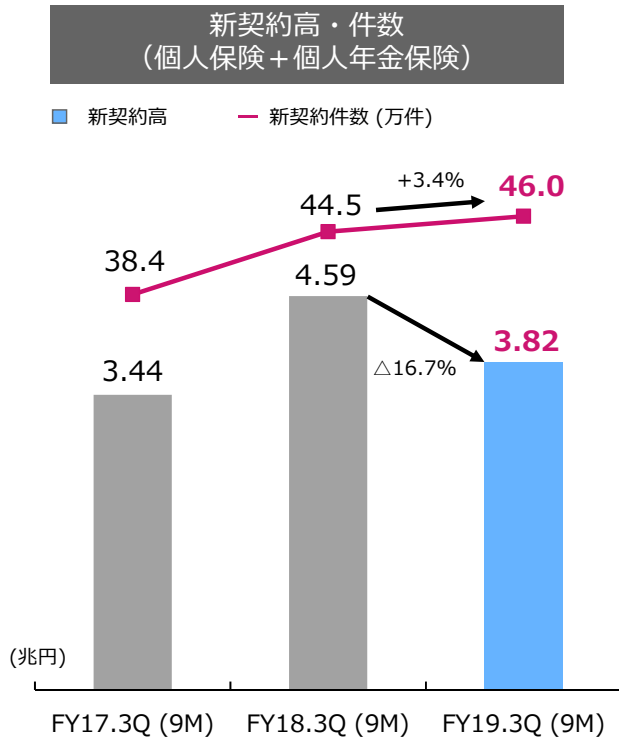
- ◆ 経常収益：特別勘定における運用損益の改善および一時払保険を主とする保険料等収入の増加により、前年同期比28.7%増加の1兆2,951億円。
- ◆ 経常利益：一般勘定におけるその他有価証券に係るヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益の悪化、事業費の増加や変額保険の市場変動などにもなう損益*の悪化があったものの、新契約高が減少したことによる新契約獲得にかかる費用の減少、および保有契約高の拡大による利益の増加などにより、前年同期比10.0%増加の666億円。

*変額保険の市場変動などにもなう最低保証に係る責任準備金の繰入額およびヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益の合計金額。



ソニー生命：業績（単体）①

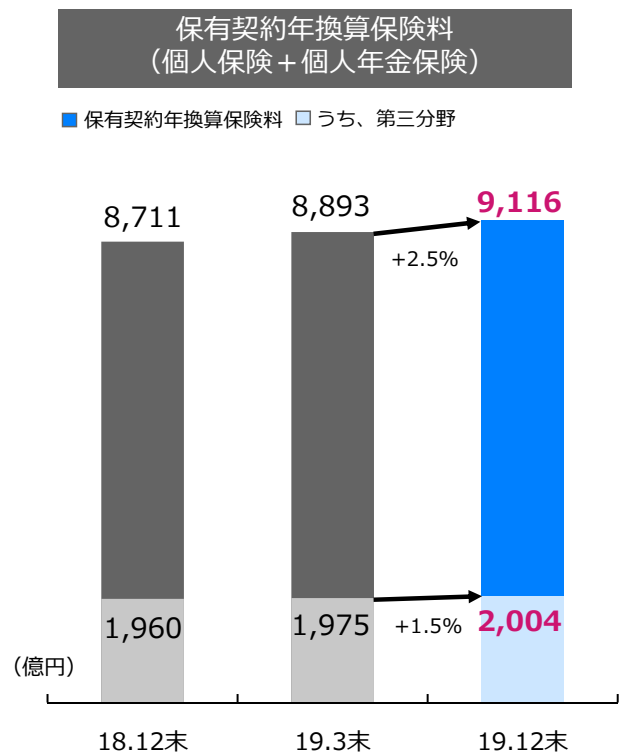
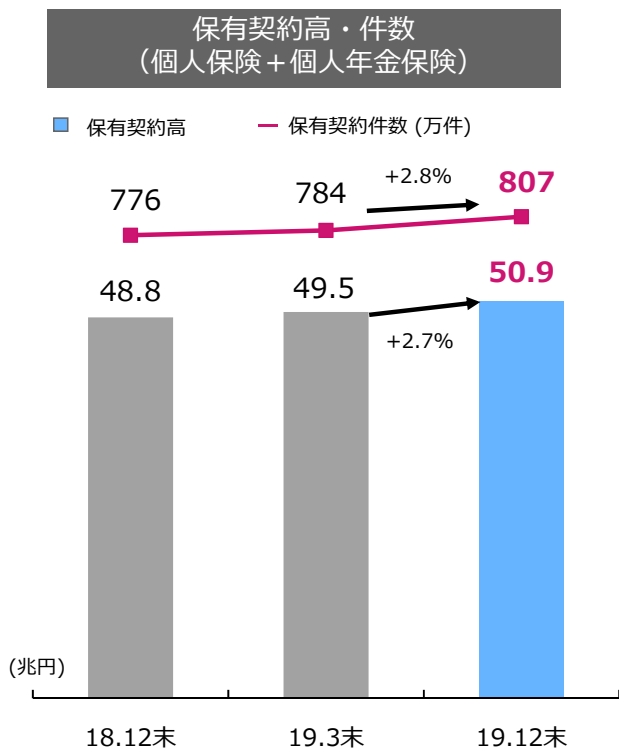
- ◆ 新契約高：家族収入保険の販売減少により、減少。
- ◆ 新契約年換算保険料：定期保険、変額保険の法人向け販売が減少したものの、米ドル建保険の販売が好調であったことにより、横ばい。



Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

7

ソニー生命：業績（単体）②

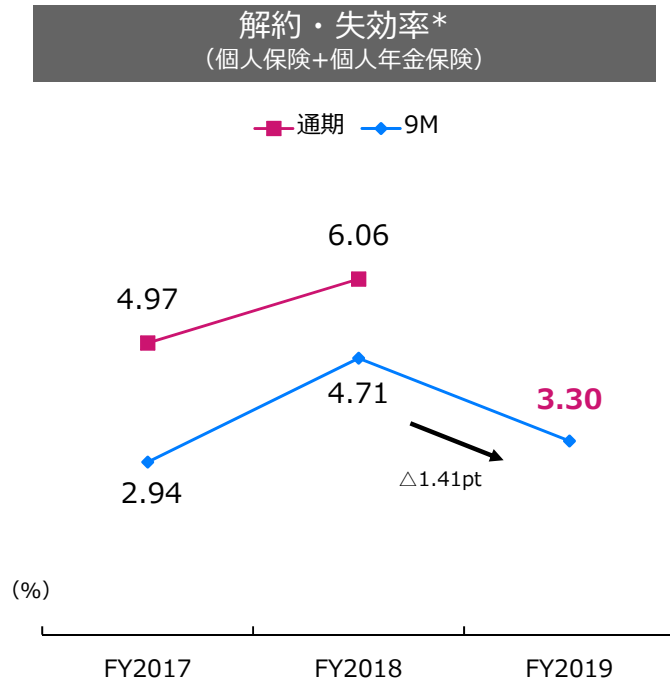


Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

8

ソニー生命：業績（単体）③

- ◆ 解約・失効率：2018年2月に料率改定を行った家族収入保険などの加入にともなう既契約の解約が減少傾向にあることから、低下。



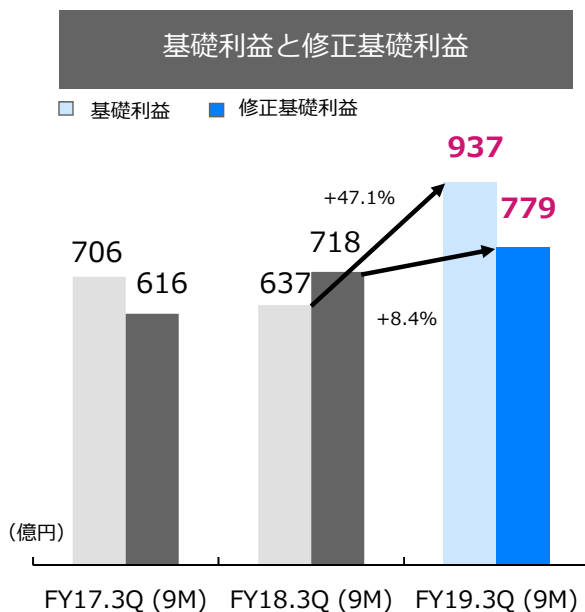
* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

9

ソニー生命：業績（単体）④

- ◆ 基礎利益：変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額の減少や保有契約高の拡大による利益の増加により、増加。



◆ 基礎利益の内訳

(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
順ざや額	139	140	145
変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額 (△) *1	△48	△221	13
修正基礎利益 *2	616	718	779

*1 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額はマイナス表記。

*2 修正基礎利益 = 基礎利益 - 順ざや額 - 変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額

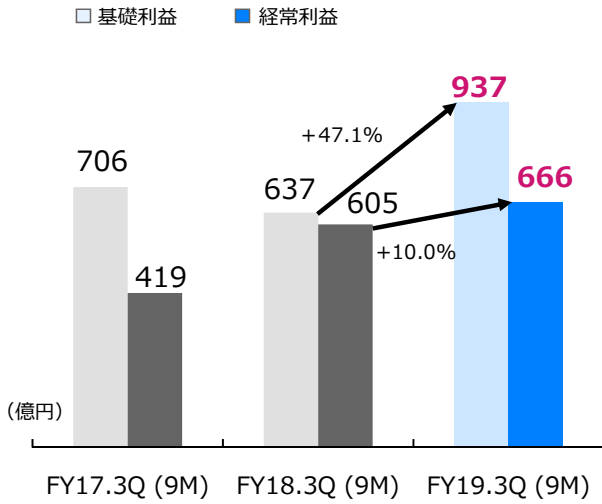
Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

10

ソニー生命：業績（単体）⑤

◆ 経常利益：変額保険に係るヘッジ損益が悪化したものの、基礎利益の増加により、増加。

基礎利益と経常利益



◆基礎利益からの差異

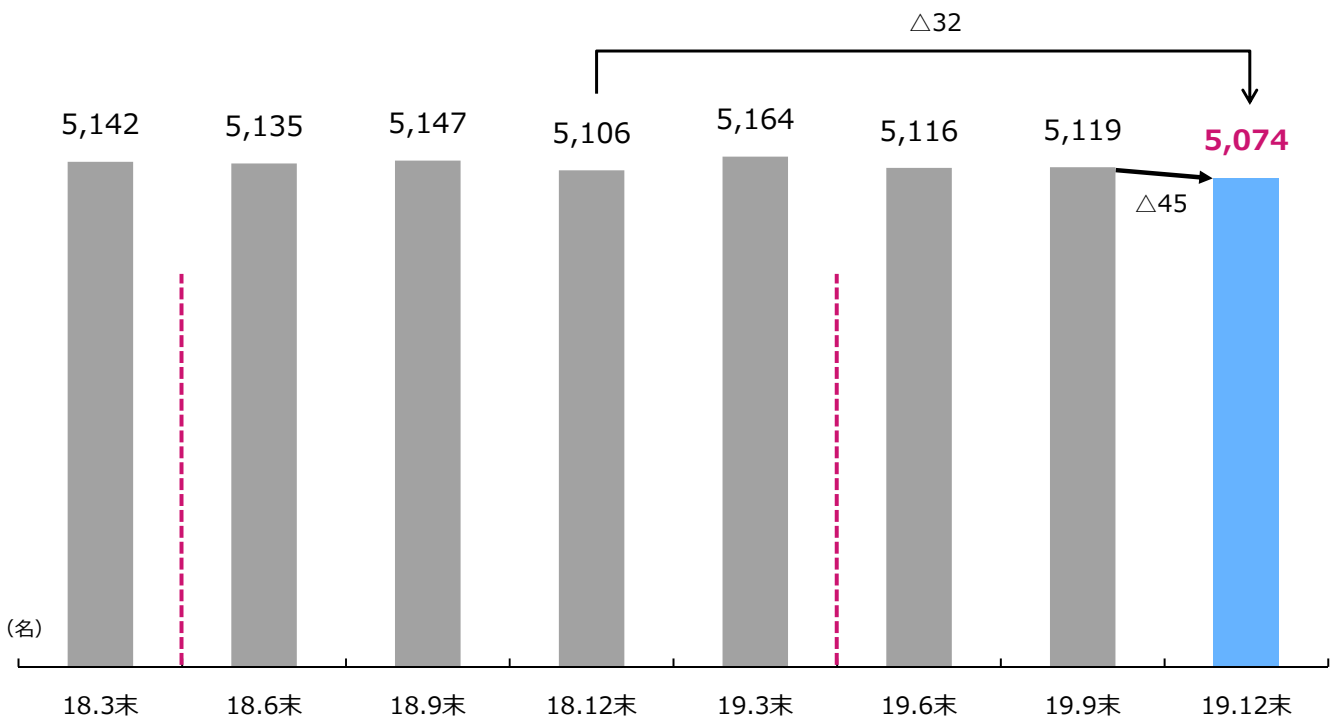
(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
基礎利益	706	637	937
キャピタル損益 *1	△94	16	△22
変額保険に係るヘッジ損益 *2	△135	16	△179
危険準備金繰入額 (△) *3	△56	△63	△68
その他	△0	△1	△1
経常利益	419	605	666

*1 キャピタル損益は、変額保険に係るヘッジ損益を除く。
 *2 変額保険に係るヘッジ損益は、P10に記載の変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額のうち、市況の変動による影響を相殺するもの。
 *3 危険準備金繰入額はマイナス表記。
 ◆変額保険に係るヘッジについて
 日本会計基準と経済価値ベースの評価の違いから、市場変動などにとまなない発生した金額は以下のとおり。詳細についてはP36参照。

(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
変額保険の市場変動にとまなう損益	△3	△12	△29

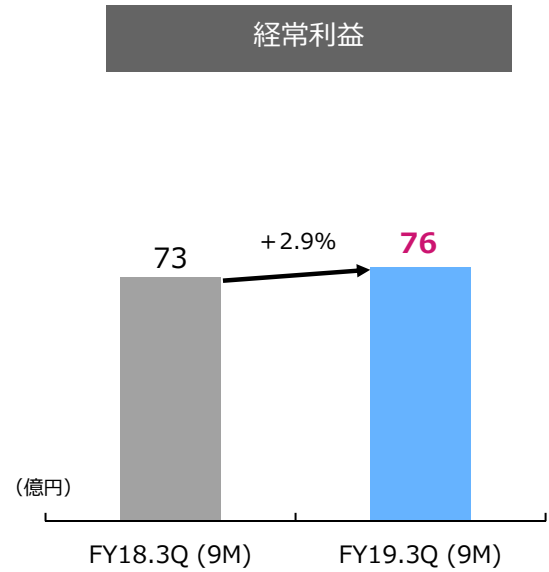
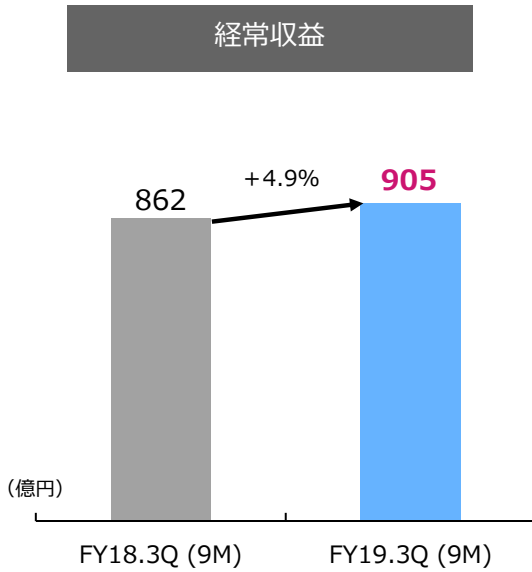
ソニー生命：業績（単体）⑥

ライフプランナー在籍数



ソニー損保：業績ハイライト

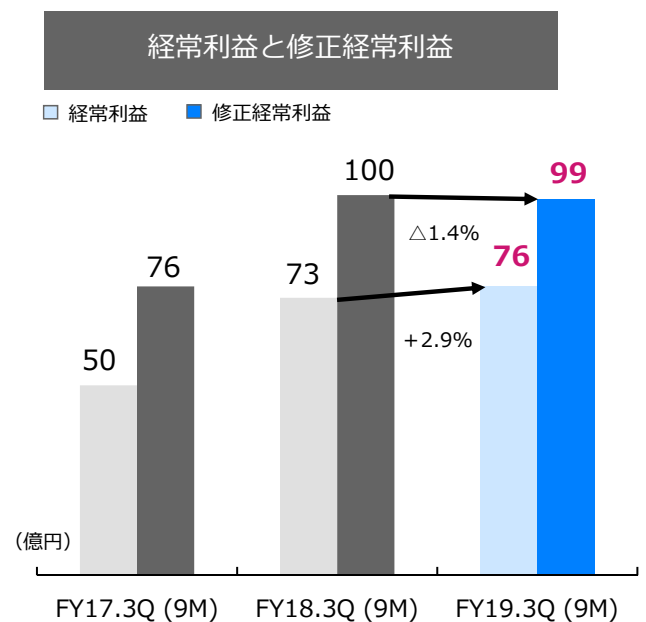
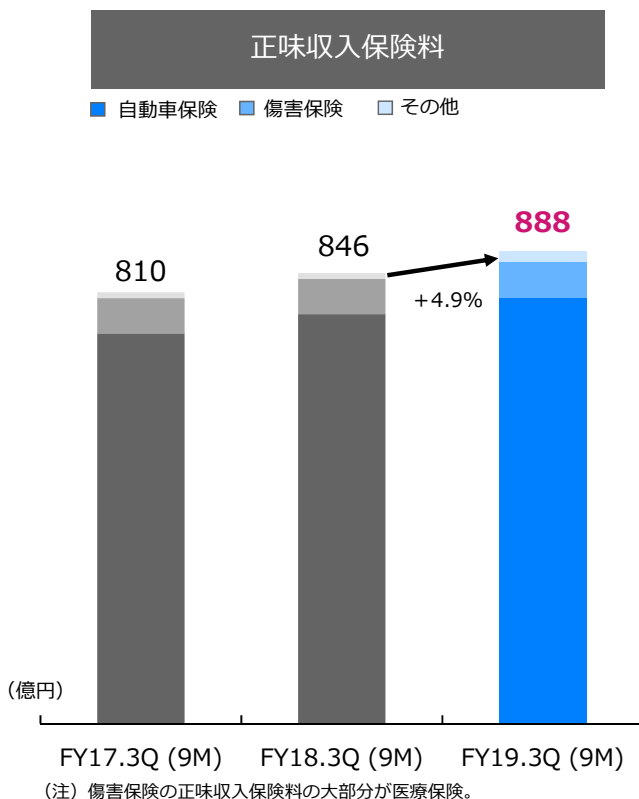
- ◆ 経常収益：主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことなどにより、前年同期比4.9%増加の905億円。
- ◆ 経常利益：損害率が上昇したものの、異常危険準備金の取崩しなどにより、前年同期比2.9%増加の76億円。



Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved. 13

ソニー損保：業績 ①

- ◆ 正味収入保険料：主力の自動車保険の契約獲得が順調に推移したことから、増加。



※修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額

(ご参考) 異常危険準備金繰入状況

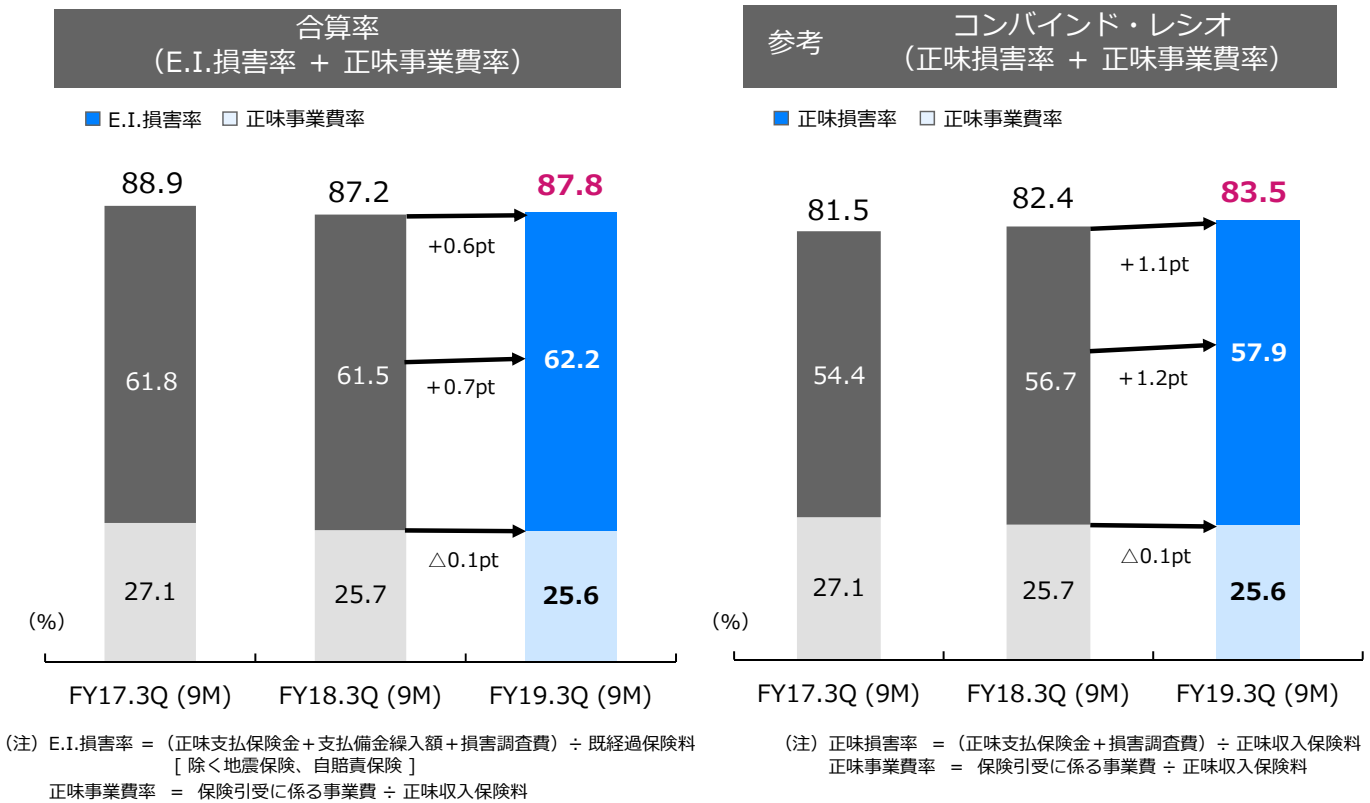
(億円)	FY17.3Q (9M)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
異常危険準備金繰入額	25	26	23

(注) 異常危険準備金繰入額はプラス表記。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved. 14

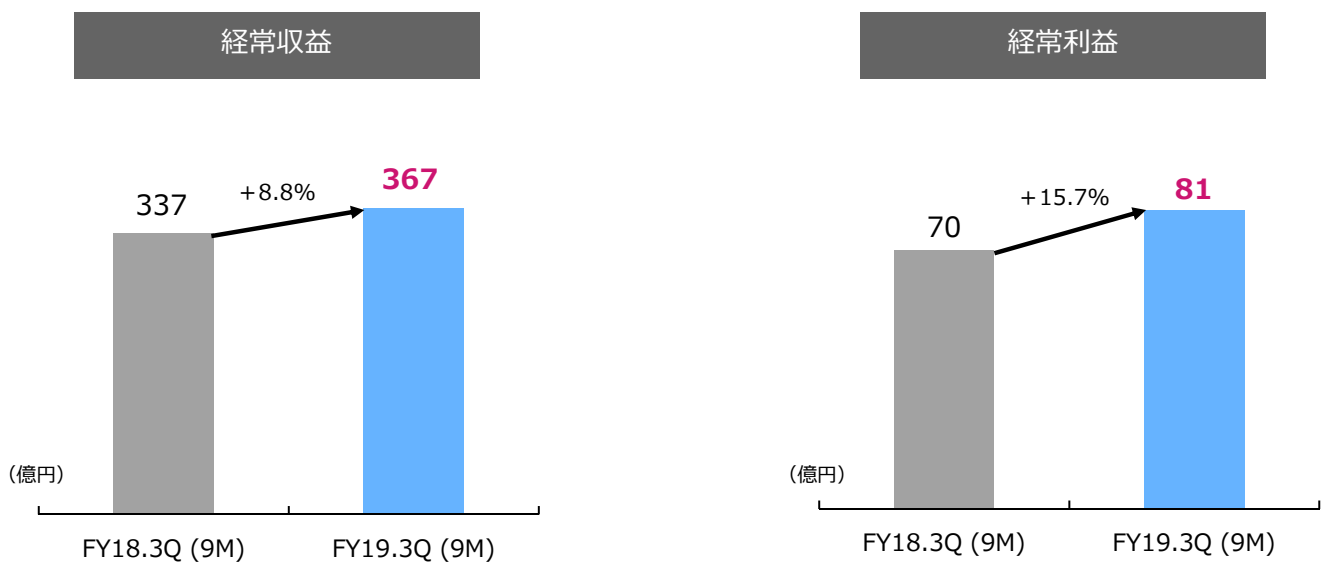
ソニー損保：業績②

- ◆ 合算率：E.I.損害率が上昇したことにより、上昇。



ソニー銀行：業績ハイライト（連結）

- ◆ 経常収益および経常利益：住宅ローン残高の積み上がりにもなう貸出金利息などの増加や、有価証券利息の増加により、経常収益は前年同期比8.8%増加の367億円、経常利益は前年同期比15.7%増加の81億円。

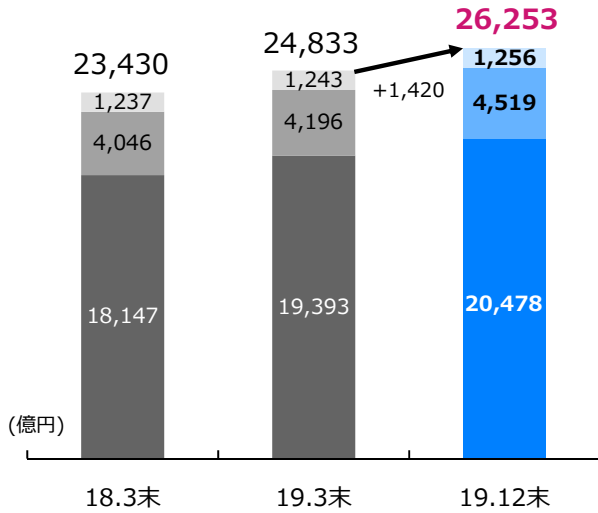


ソニー銀行：業績（単体）

- ◆ 預かり資産残高
 - ・円預金：口座数の増加など新規資金の獲得により、増加。
 - ・外貨預金：定期預金を中心に増加。
- ◆ 貸出金残高
 - ・住宅ローンの着実な積上げにより、増加。

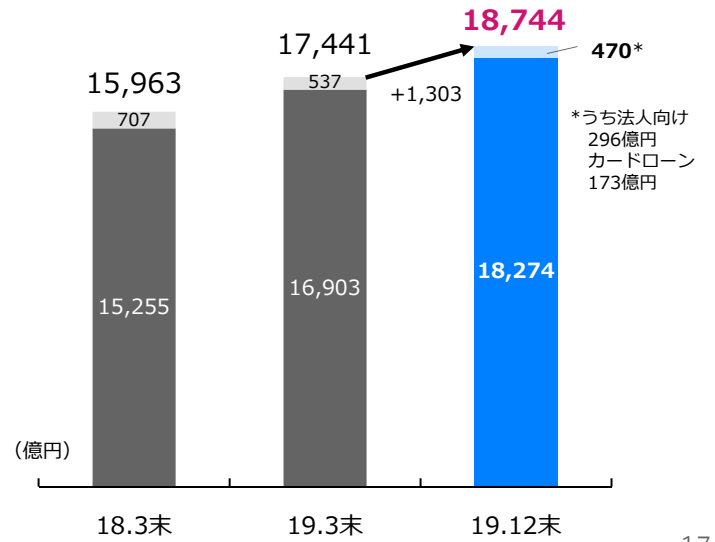
預かり資産残高

■ 円預金 ■ 外貨預金 □ 投資信託



貸出金残高

■ 住宅ローン □ その他





2019年度連結業績予想

2019年度連結業績予想



2019年4月26日に公表した通期の連結業績予想を以下のとおり修正

(億円)	FY2019 (修正前)	FY2019 (修正後)	増減額	FY2018 (通期実績)	前年度比 (修正後)
経常収益	16,900	18,600	+1,700	16,291	+14.2%
生命保険事業	15,205	16,913	+1,708	14,643	+15.5%
損害保険事業	1,212	1,212	-	1,151	+5.3%
銀行事業	493	493	-	460	+7.1%
経常利益	980	1,030	+50	938	+9.7%
生命保険事業	842	865	+23	782	+10.6%
損害保険事業	70	79	+9	68	+14.5%
銀行事業	86	100	+14	95	+4.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	650	680	+30	620	+9.5%

<経常収益>

生命保険事業のFY19.3Q(9M)実績が以下の要因などにより
期初想定を上回ったため上方修正。

- (+) 特別勘定における運用益
- (+) 一時払保険を主とする保険料等収入

<経常利益>

すべての事業でFY19.3Q(9M)実績が期初想定を上回ったため
上方修正。生命保険事業が期初想定から乖離した主な要因は以下のとおり。

- (+) 新契約獲得にかかる費用の減少
- (-) 一般勘定におけるその他有価証券に係る減損損失の計上
- (-) 変額保険の市場変動などにともなう損益の悪化

(注) 2020年1月29日付で、ソニー生命がソニーライフ・エイゴン生命およびSA Reinsuranceの株式を取得し、SFHおよびソニー生命による両社の完全子会社化が完了。
上記業績予想には、当該完全子会社化の影響が含まれているが、その影響は軽微。



2019年度配当予想

2019年度配当予想



◆ 配当予想の修正および今後の配当額

2019年度の配当予想は、事業環境や業容成長などを勘案した結果、2019年4月26日に公表した1株当たり65円から70円に修正する。

今後の配当額については、連結修正ROEの分子である連結修正利益の30%程度を目安とする。

【配当実績／予想】

(円)	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019 (予想)
1株当たり配当金	55.0	55.0	60.0	62.5	65.0⇒70.0

(ご参考) 中期配当方針

当社は、グループ各社における健全性と成長分野への投資のための適切な内部留保を確保した上で、安定的な配当の実施を基本方針とし、中長期の収益拡大に応じて配当の安定的な増加を目指す。中長期の収益拡大については、法定会計上の利益のみならず、生命保険事業の成長実態により近い、経済価値ベースの利益指標をより重視した上で、総合的に判断し、配当額を決定。

※連結修正利益および連結修正ROEの詳細については、P. 26-27を参照。



ソニー生命の 2019年12月末MCEV

2019年3月末を除く数値については、一部簡易な計算を実施しています。
計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

ソニー生命：MCEV



◆ MCEV増減要因

・金利変動による減少要因があったものの、新契約の獲得などにより、前四半期末比横ばい。

◆ 新契約価値および新契約マージン

- ・FY19.3Q (3M) の新契約価値は、米ドル建一時払終身保険の料率改定や法人向け商品の販売再開により、FY19.2Q (3M) に比べ増加し、171億円。
- ・FY19.3Q (3M) の新契約マージンは、商品構成の変化などにより、FY19.2Q (3M) に比べ1.3ポイント上昇。

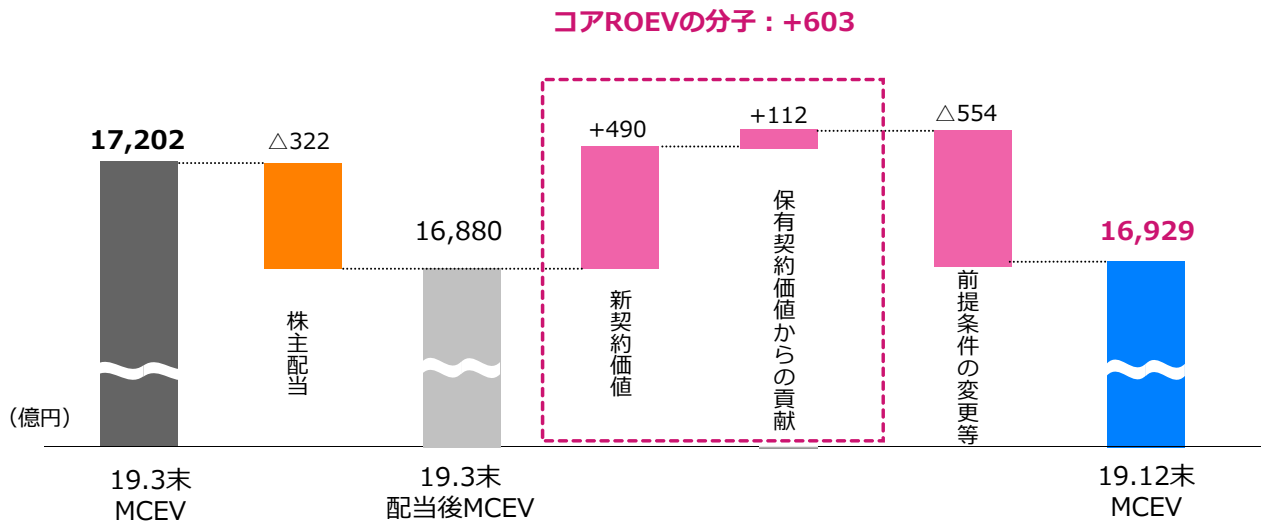
(億円)	19.3末	19.9末	19.12末	増減 対19.3末	増減 対19.9末
MCEV	17,202	16,919	16,929	△273	+10
修正純資産	21,957	24,989	23,722	+1,764	△1,267
保有契約価値	△4,755	△8,070	△ 6,793	△2,038	+1,277

(億円)	FY18.4Q (3M)	FY19.1Q (3M)	FY19.2Q (3M)	FY19.3Q (3M)	FY19.3Q (9M)
新契約価値	231	170	148	171	490
新契約マージン	5.0%	5.4%	3.8%	5.1%	4.7%

(注) 2019年6月末以降のMCEVの計算は、2019年3月末の前提条件から、主に経済前提と解約・失効率をアップデート。

※国債レートやイールドカーブについては、P. 42-45参照。

ソニー生命：FY19.3Q（9M）のMCEVの主な変動要因



(注) 前提条件の変更等の内訳は、保険関係の前提条件の変更：+160億円、経済的前提条件等の変更（金利変動を含む）：△714億円

Appendix |

- ◆ソニーフィナンシャルグループ
 - 連結修正ROEの内訳
 - 連結修正利益および連結修正資本の内訳
 - 連結修正ROEの算式
 - 主要KPIのアップデート
 - 健全性指標
 - クロスセルの状況
- ◆ソニー生命
 - 商品構成
 - 資産運用
 - 一般勘定資産内訳
 - 利配収入内訳
 - キャピタル損益内訳
 - 新契約高の四半期推移
 - 新契約年換算保険料の四半期推移
 - 新契約価値の四半期推移
 - ESR
 - 年金事業の業績
 - 日本国債レートの推移
 - リスクフリーレートの推移（日本円）
 - 米国債レートの推移
 - リスクフリーレートの推移（米ドル）
- ◆各社業績データ（要約財務諸表等）
 - SFH連結・ソニー生命・ソニー損保・ソニー銀行

連結修正ROEの内訳

	FY2018 (12M)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
連結修正ROE	6.7%	5.1%	4.0%
(ソニー生命) コアROEV	6.4%	4.8%	3.6%
(ソニー損保) 修正ROE	15.2%	14.3%	13.0%
(ソニー銀行) ROE	7.3%	5.3%	6.0%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved. 27

連結修正利益および連結修正資本の内訳

◆ 修正利益 (分子)

ソニーフィナンシャル グループ (連結) (億円)	FY2018	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
修正利益 (連結)	1,204	908	728

ソニー生命 (単体) (億円)	FY2018	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
新契約価値 *	913	682	490
保有契約価値からの貢献 *	150	107	112
修正利益	1,064	789	603

ソニー損保 (億円)	FY2018	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
当期 (四半期) 純利益	49	52	54
異常危険準備金繰入額 (税後)	26	19	16
価格変動準備金繰入額 (税後)	0	0	0
修正利益	76	72	71

ソニー銀行 (連結) (億円)	FY2018	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益	63	46	54

◆ 修正資本 (分母)

ソニーフィナンシャル グループ (連結) (億円)	FY2018	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
修正資本 (連結)	18,018	17,735	18,360

ソニー生命 (単体) (億円)	FY2018	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
①前年度末MCEV	16,331	16,331	17,202
②配当額	262	262	322
③当年度 (当四半期) 末MCEV *	17,202	16,646	16,929
修正資本 (①-②+③)÷2	16,635	16,357	16,905

ソニー損保 (億円)	FY2018	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
①純資産の部	347	353	374
②異常危険準備金 (税後)	177	170	194
③価格変動準備金 (税後)	1	1	1
修正資本 ((①+②+③) の期中平均値)	505	504	549

ソニー銀行 (連結) (億円)	FY2018	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
修正資本 (純資産の部の期中平均値)	876	873	905

*FY18.3Q (9M)およびFY19.3Q (9M)は、計算の妥当性について第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。

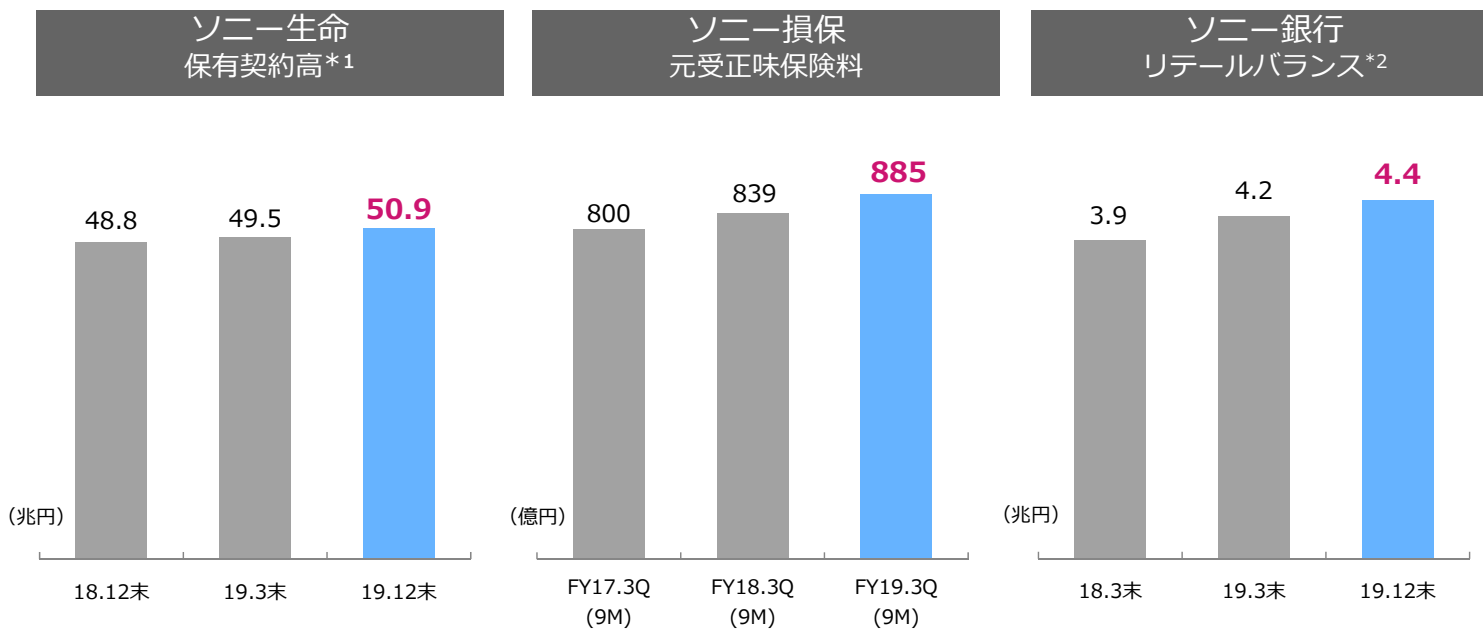
連結修正ROEの算式

保険事業や銀行事業などグループ各社の業態が異なるため、各事業ごとに、修正利益および修正資本に基づく「修正ROE」を算出し、企業価値や資本効率の的確な把握に努める。グループ各社の修正ROEの算式は以下のとおり。

ソニーフィナンシャルグループ*			
	ソニー生命 コアROEV	ソニー損保 修正ROE	ソニー銀行 ROE
分子 (修正利益)	新契約価値 + 保有契約価値からの貢献 ①	+ 当期純利益 + 異常危険準備金繰入額(税後) + 価格変動準備金繰入額(税後) ②	+ 親会社株主に帰属する 当期純利益 ③
分母 (修正資本)	(前年度末MCEV - 配当額 + 当年度末MCEV) ÷ 2 ④	+ 以下の期中平均値 (純資産の部 + 異常危険準備金 (税後) + 価格変動準備金 (税後)) ⑤	+ 純資産の部の期中平均値 ⑥

* グループの連結修正ROE = 連結修正利益 ÷ 連結修正資本
 連結修正利益 = ① + ② + ③
 連結修正資本 = ④ + ⑤ + ⑥

主要KPIのアップデート



*1 個人保険、個人年金保険の合計

*2 預金、投資信託、金融商品仲介、投資一任契約媒介、個人ローンの合算

健全性指標

	18.3末	19.3末	19.12末	前年度末比
ソニー生命（単体） ソルベンシー・マージン比率	2,624.3%	2,590.5%	2,591.7%	+1.2pt
ソニー損保 ソルベンシー・マージン比率	782.1%	813.0%	919.6%	+106.6pt
ソニー銀行（単体） 自己資本比率（国内基準）	10.45%	9.58%	9.39%	△0.19pt

（注）比率は、表示単位未満切捨て表示。

クロスセルの状況

◆ ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローン取扱い状況

FY19.3Q（9M）の住宅ローン新規融資実行金額の12%

2019年12月末の住宅ローン残高の18%

（注）銀行代理業務取扱い開始：2008年1月



◆ ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

FY19.3Q（9M）の新規自動車保険契約件数の6%

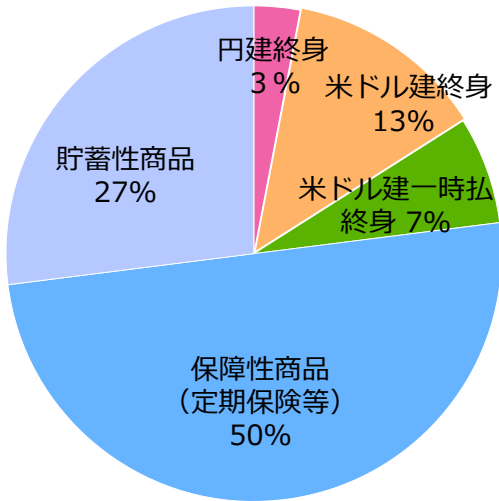
（注）自動車保険取扱い開始：2001年5月



ソニー生命：商品構成（商品種類別新契約年換算保険料）

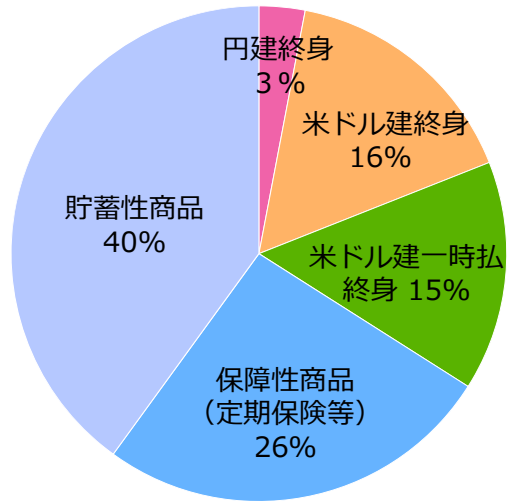
FY2018

879億円



FY19.3Q (9M)

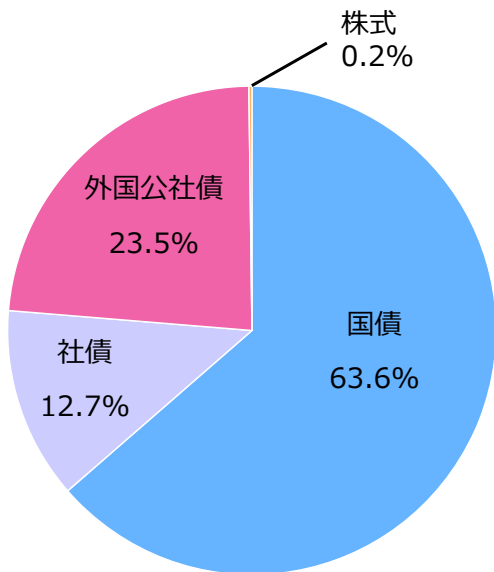
572億円



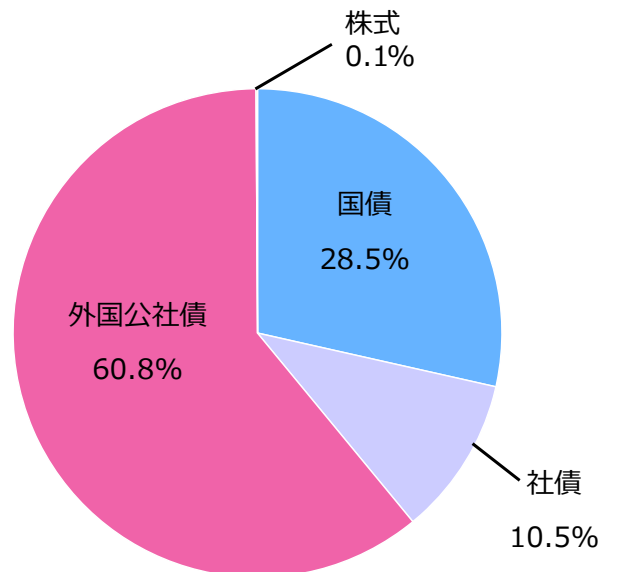
(注) 貯蓄性商品：養老・年金・学資

ソニー生命：資産運用（一般勘定資産における有価証券の購入）

FY2018



FY19.3Q (9M)



(注1) 社債には、財投機関債、政府保証債を含む。

(注2) 上記の表は対象期間の購入金額を100%とした資産配分（子関連出資・政策投資を除く）。

ソニー生命：一般勘定資産内訳

◆ 資産運用状況

金利リスクの低減を目的として、保険契約の持つ長期の負債特性に合わせて超長期債の購入を継続

(億円)	19.3末		19.12末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	77,453	85.3%	79,682	81.7%
株式	286	0.3%	254	0.3%
外国公社債	5,421	6.0%	9,269	9.5%
外国株式等	225	0.2%	179	0.2%
金銭の信託	2,693	3.0%	2,632	2.7%
約款貸付	1,983	2.2%	2,042	2.1%
不動産 ^(注)	908	1.0%	896	0.9%
現預金・コールローン	619	0.7%	1,050	1.1%
その他	1,202	1.3%	1,501	1.5%
合計	90,794	100.0%	97,509	100.0%

◆ 円建債券のDuration

2018.3末	21.4年
2019.3末	21.8年
2019.12末	21.7年

◆ 「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用

◆ 一般勘定資産における公社債（金銭の信託で運用されているものを含む）の実質的な構成比

2018.3末	89.5%
2019.3末	88.3%
2019.12末	84.4%

(注) 「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上。

ソニー生命：利配収入内訳

(百万円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期比
現預金	0	0	+22.2%
公社債	97,082	99,518	+2.5%
株式	377	248	△34.0%
外国証券	14,538	21,841	+50.2%
その他の証券	293	80	△72.6%
貸付	5,124	5,278	+3.0%
不動産	6,578	7,283	+10.7%
その他	409	274	△32.9%
合計	124,403	134,526	+8.1%

ソニー生命：キャピタル損益内訳

(百万円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
キャピタル費用	14,420	25,750
売買目的有価証券運用損	293	-
有価証券売却損…(3)	34	50
有価証券評価損…(4)	4,026	2,991
金融派生商品費用	784	19,557
変額保険に係るヘッジ損…(1)	△1,696	18,037
その他有価証券に係るヘッジ損…(2)	△1,692	1,363
米ドル建保険関係の為替差損…(5)	4,141	39
為替差損	-	3,117
米ドル建保険関係の為替差損…(5)	-	3,253
変額保険に係るヘッジ損…(1)	-	△124
その他キャピタル費用	9,280	32
米ドル建保険関係の為替変動に係る責任準備金等繰入額…(5)	9,280	-

(百万円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
キャピタル収益	17,726	5,571
売買目的有価証券運用益	-	149
有価証券売却益…(3)	4,581	2,979
為替差益	13,145	-
米ドル建保険関係の為替差益…(5)	13,036	-
その他キャピタル収益	-	2,442
米ドル建保険関係の為替変動に係る責任準備金等戻入額…(5)	-	2,442
キャピタル損益	3,306	△20,178

(注1) 売買目的有価証券運用益(損)、金融派生商品収益(費用)、為替差益(差損)は、それぞれ相殺後の金額を計上。

(注2) 変額保険に係るヘッジおよび米ドル建保険関係の為替変動に係るヘッジは、実態に近い経済価値ベースの資本の変動を抑えることをより重視し、FY2019にヘッジ比率を引き上げ。
日本会計基準の責任準備金などの評価が、経済価値ベースの評価から乖離していることから、会計上の利益は市況の影響を受けやすい状況。

- ・変額保険に係るヘッジ損益(1)と、ヘッジ対象である負債の変動を相殺した後の損益はP11参照。
- ・米ドル建保険に係るヘッジ損益と、ヘッジ対象である負債の変動を相殺した後の損益は下表「◆主な項目のキャピタル損益(純額)」の(5)。

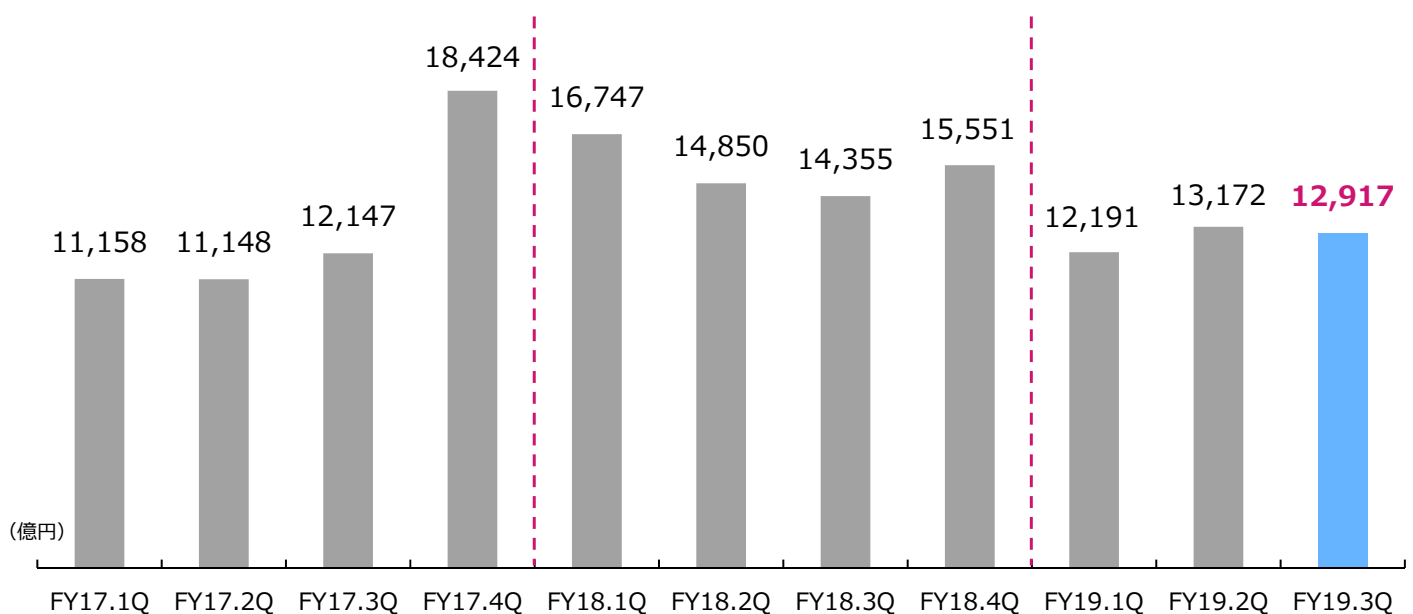
◆ 主な項目のキャピタル損益(純額)

(百万円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)
(1)変額保険に係るヘッジ損益	1,696	△17,912
(2)その他有価証券に係るヘッジ損益	1,692	△1,363
(3)有価証券売却損益	4,547	2,928
(4)有価証券評価損	△4,026	△2,991
(5)米ドル建保険関係損益	△384	△850

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

37

ソニー生命：新契約高の四半期推移

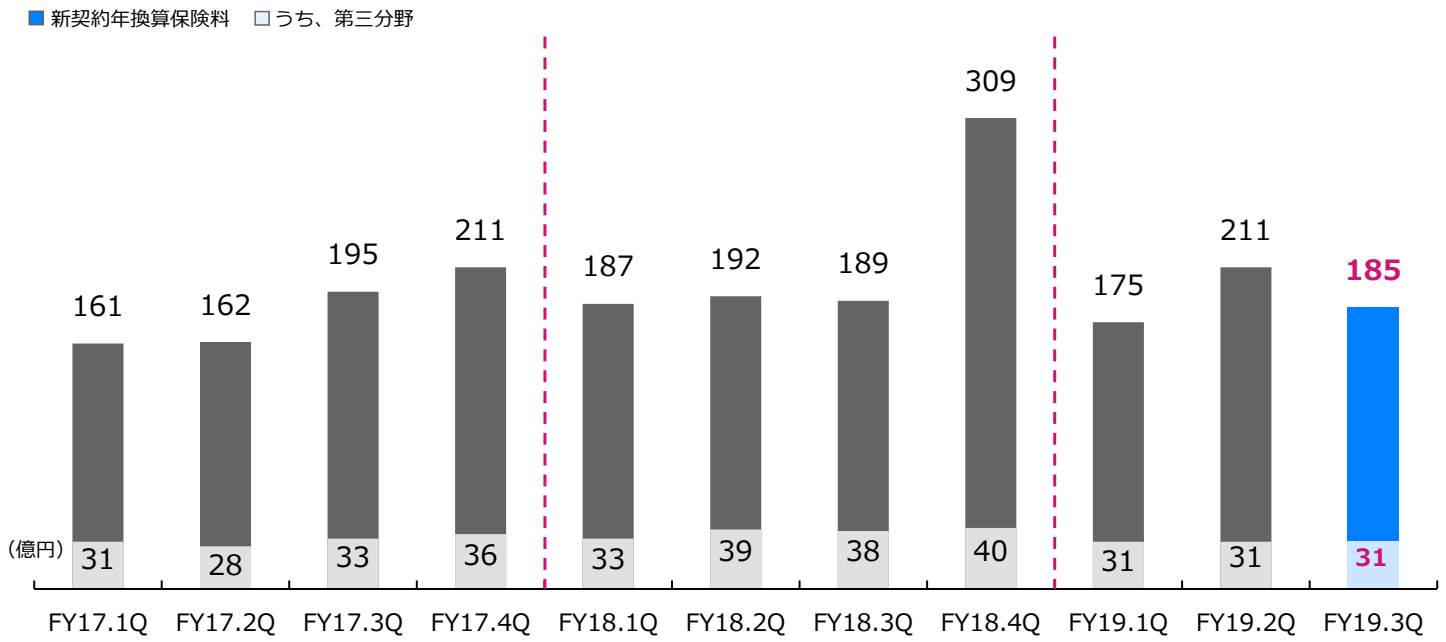


(注) 個人保険、個人年金保険の合計

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

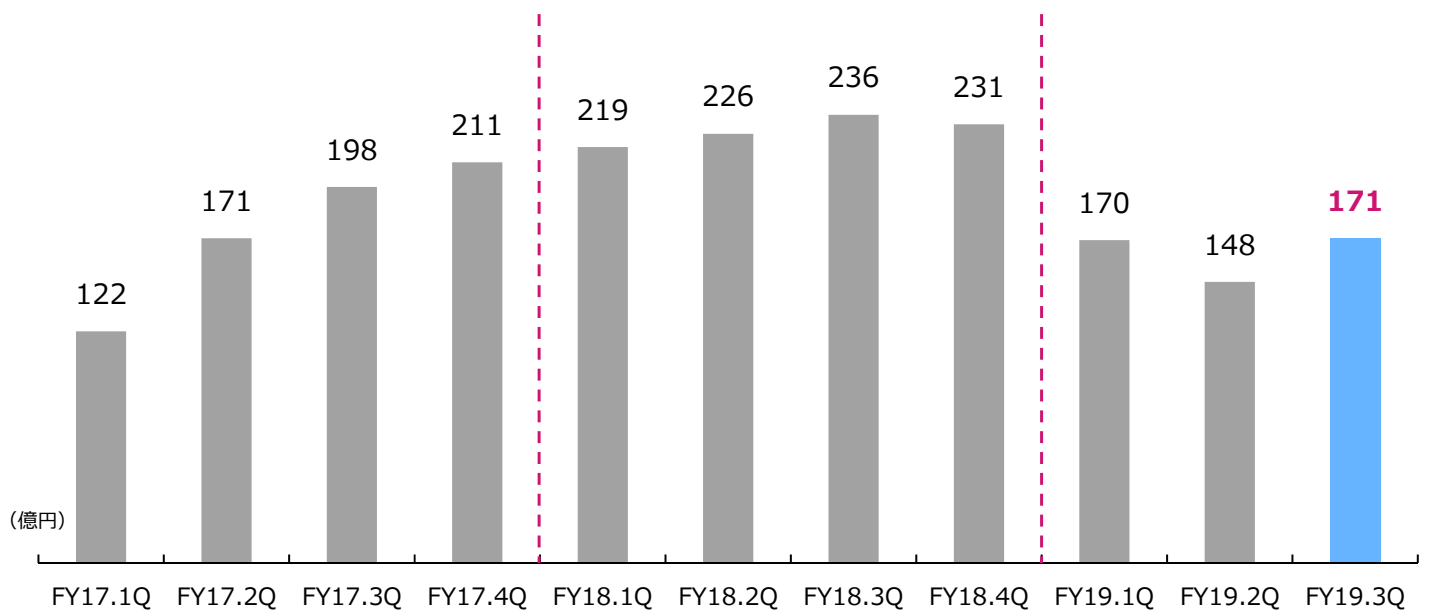
38

ソニー生命：新契約年換算保険料の四半期推移



(注) 個人保険、個人年金保険の合計

ソニー生命：新契約価値の四半期推移



(注) 新契約価値は、各月の新契約を各月末の経済前提で評価。2018年3月末に実施した保険リスク計測手法等の見直しを2018年度より反映。

- ◆ 経済価値ベースのリスク量は、円金利の形状変化による金利リスクの低下などにより、前四半期末に比べ87億円減少し、7,601億円。
- ◆ ESRは、経済価値ベースのリスク量の減少などにより、前四半期末に比べ4ポイント上昇し、226%。

(億円)	19.3末	19.9末	19.12末	増減 対19.3末	増減 対19.9末
保険リスク	5,473	5,885	5,876	+402	△9
市場関連リスク	3,325	3,031	2,921	△404	△110
うち金利リスク	2,021	1,667	1,551	△470	△116
オペレーショナルリスク	334	414	402	+68	△11
カウンターパーティリスク	30	37	40	+9	+3
分散効果	△1,740	△1,679	△ 1,638	+102	+40
経済価値ベースのリスク量	7,423	7,688	7,601	+177	△87

(億円)	19.3末	19.9末	19.12末	増減 対19.3末	増減 対19.9末
MCEV+フリクショナル・コスト	17,437	17,094	17,174	△263	+80
ESR	235%	222%	226%	△9pt	+4pt

(注1) 経済価値ベースのリスク量とは、ソニー生命が保有する各種リスク（保険リスク、市場関連リスクなど）を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量。

(注2) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、内部モデルを採用。

(注3) 金利リスクは、市場関連リスク内での分散効果考慮前のリスク量。

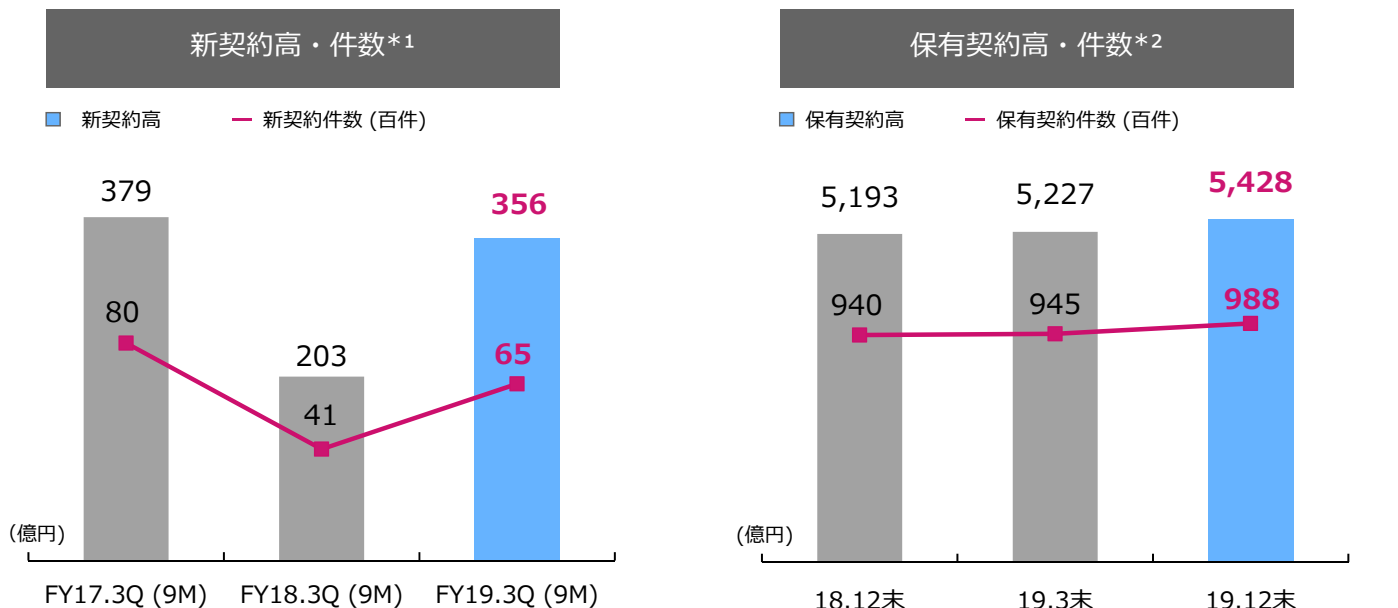
(注4) ESRは「(MCEV+フリクショナル・コスト) / 経済価値ベースのリスク量」。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

41

年金事業の業績

- ◆ ソニーライフ・エイゴン生命の新契約高および保有契約高



*1 FY17.3Q (9M)およびFY18.3Q (9M)は個人年金保険、FY19.3Q (9M)は個人保険、個人年金保険の合計

*2 18.12末は個人年金保険、19.3末および19.12末は個人保険、個人年金保険の合計

- ◆ ソニーライフ・エイゴン生命およびSA Reinsuranceの四半期純利益（△損失）

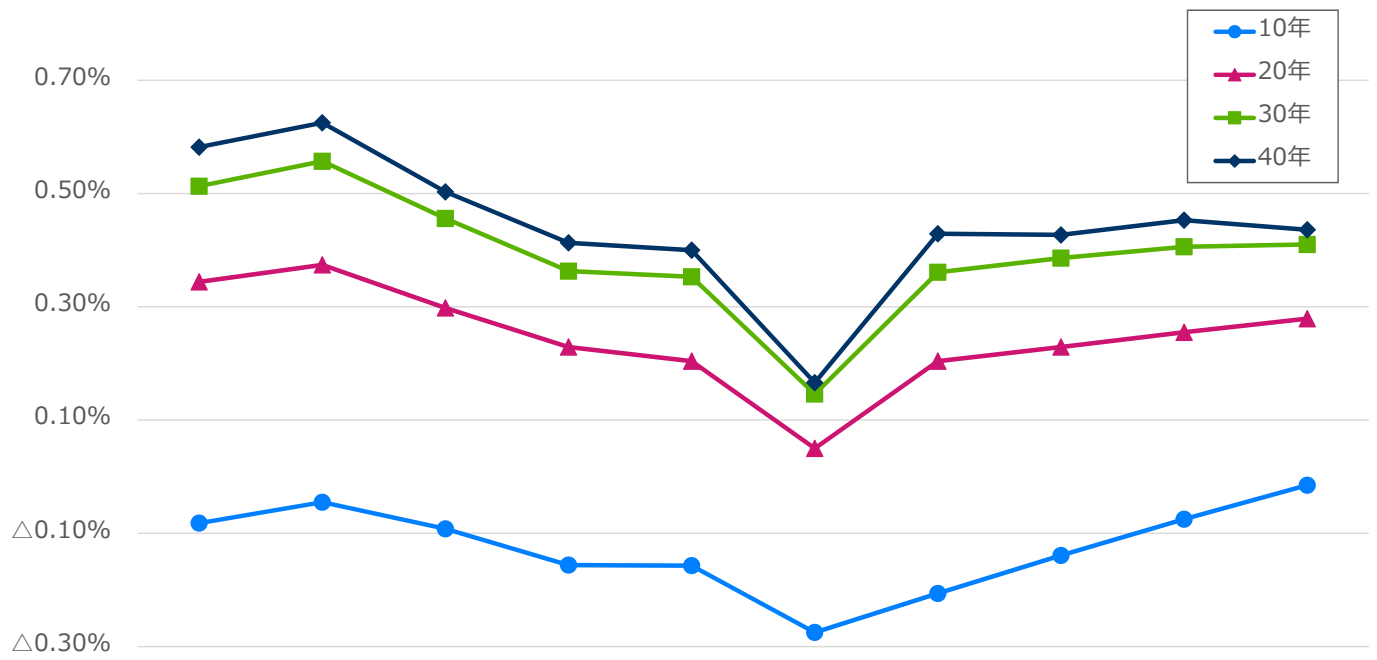
(億円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期差
ソニーライフ・エイゴン生命	△26	△7	+19
SA Reinsurance	17	2	△15

(注) ソニーライフ・エイゴン生命とSA Reinsuranceは、上記会計期間において、ソニー生命とエイゴン・インターナショナルの折半出資（50:50）による合併会社であり、SFHの持分法適用関連会社。SA Reinsuranceの業績数値は、米国会計原則に準拠。SFHの親会社株主に帰属する四半期純利益には上記の金額に対する持分相当（50%）を反映。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

42

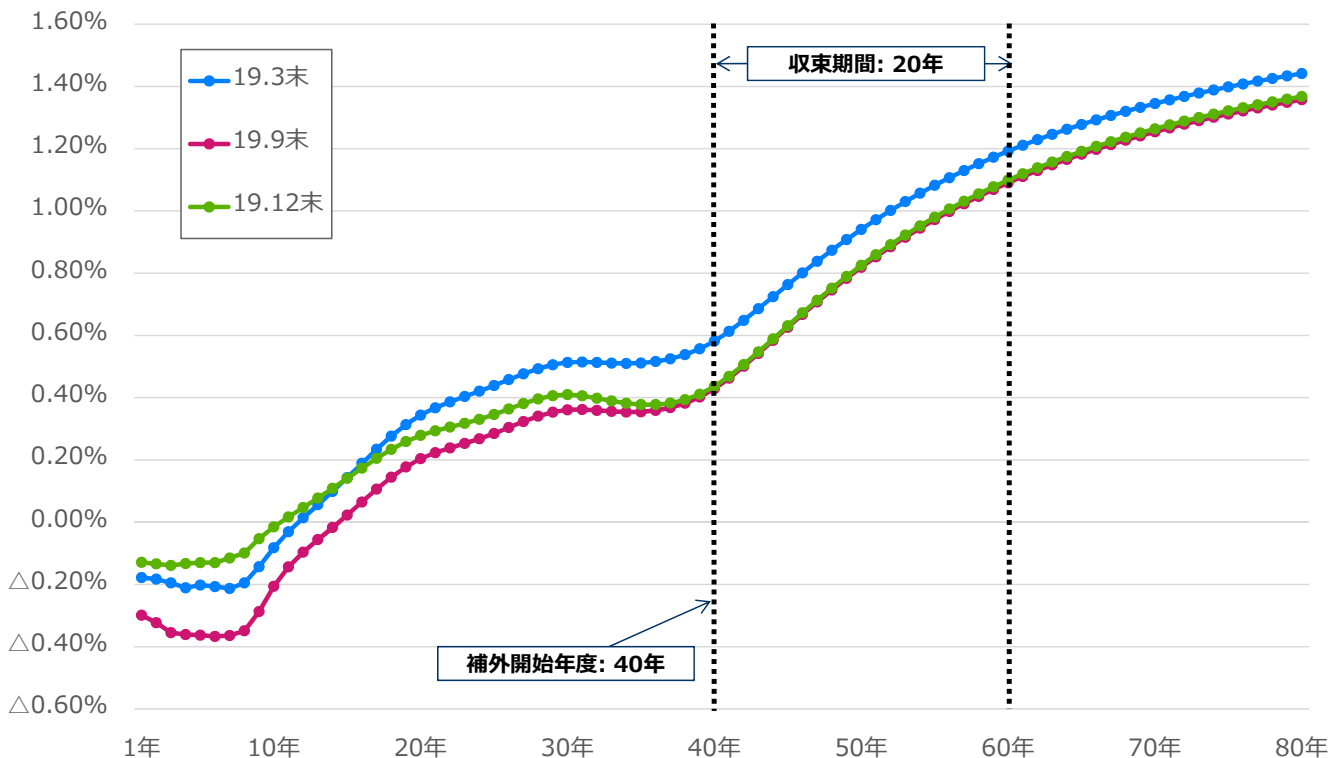
日本国債レートの推移 (パーレート)



	19.3末	19.4末	19.5末	19.6末	19.7末	19.8末	19.9末	19.10末	19.11末	19.12末
10年	△0.08%	△0.05%	△0.09%	△0.16%	△0.16%	△0.28%	△0.21%	△0.14%	△0.08%	△0.02%
20年	0.34%	0.37%	0.30%	0.23%	0.20%	0.05%	0.20%	0.23%	0.26%	0.28%
30年	0.51%	0.56%	0.46%	0.36%	0.35%	0.15%	0.36%	0.39%	0.41%	0.41%
40年	0.58%	0.63%	0.50%	0.41%	0.40%	0.17%	0.43%	0.43%	0.45%	0.44%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

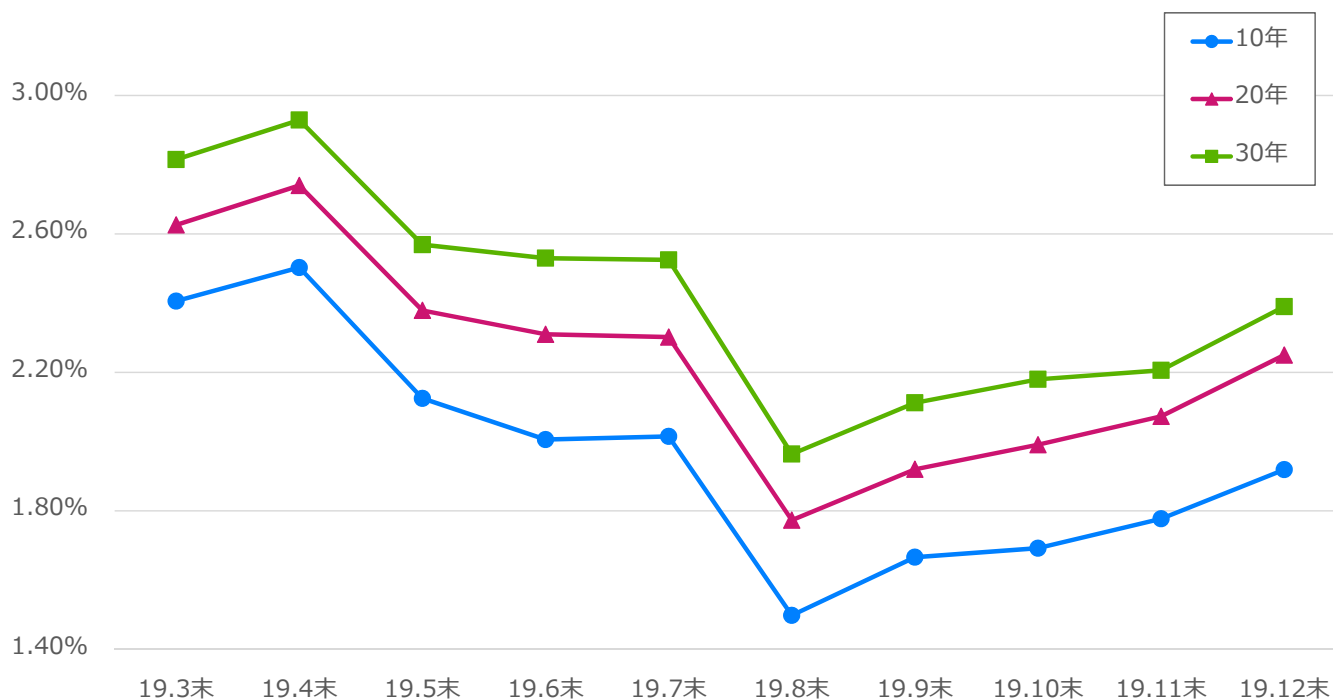
リスクフリーレートの推移 (日本円/パーレート換算)



(注) 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利 (3.5%) に収束するように、Smith-Wilson法により補外。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

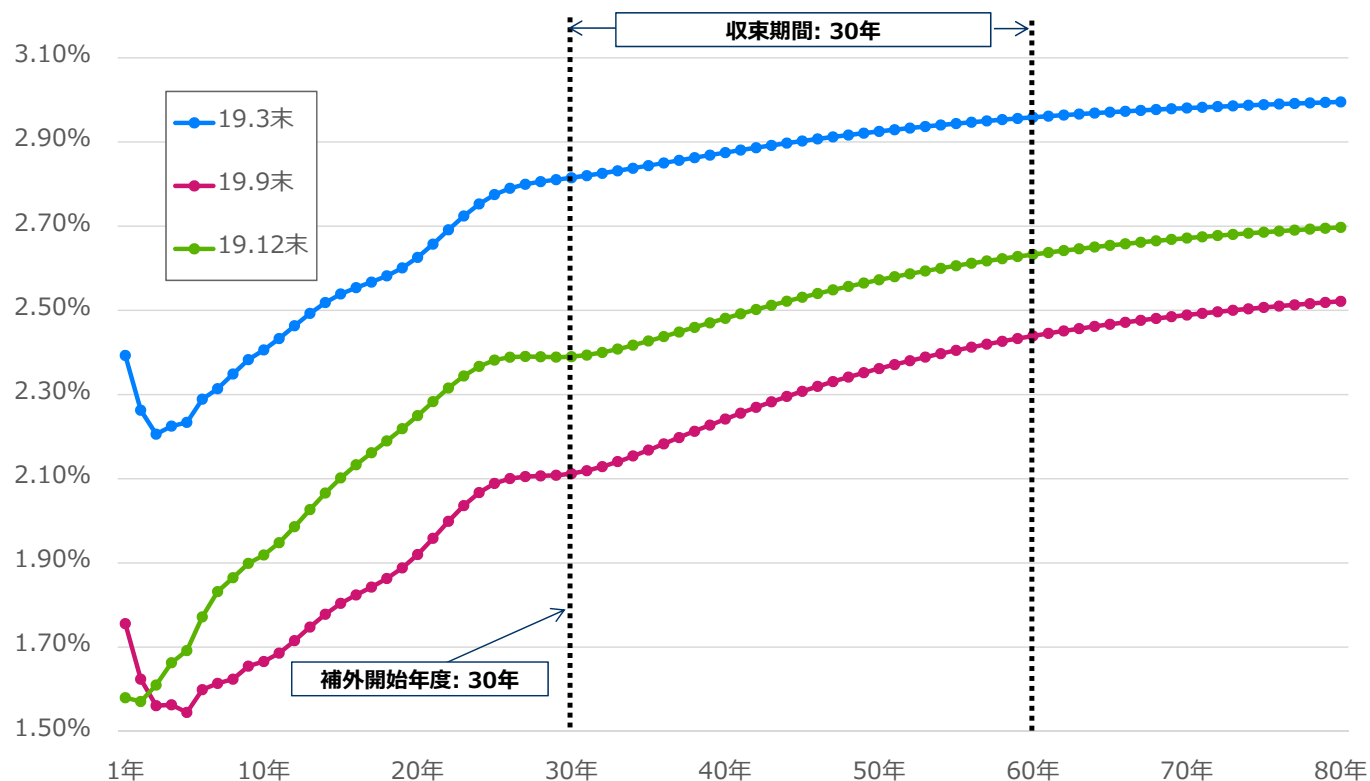
米国債レートの推移 (パーレート)



	19.3末	19.4末	19.5末	19.6末	19.7末	19.8末	19.9末	19.10末	19.11末	19.12末
10年	2.41%	2.50%	2.13%	2.01%	2.02%	1.50%	1.67%	1.69%	1.78%	1.92%
20年	2.63%	2.74%	2.38%	2.31%	2.30%	1.77%	1.92%	1.99%	2.07%	2.25%
30年	2.82%	2.93%	2.57%	2.53%	2.53%	1.96%	2.11%	2.18%	2.21%	2.39%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

リスクフリーレートの推移 (米ドル/パーレート換算)



(注) 上記のリスクフリーレートは、60年目のフォワードレートが終局金利 (3.5%) に収束するように、Smith-Wilson法により補外。

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

連結：要約財務諸表

		(億円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期比	
生命保険事業	経常収益		10,066	12,951	+2,885	+28.7%
	経常利益		601	662	+61	+10.2%
損害保険事業	経常収益		862	905	+42	+4.9%
	経常利益		73	76	+2	+2.9%
銀行事業	経常収益		337	367	+29	+8.8%
	経常利益		70	81	+11	+15.7%
その他*	経常収益		26	35	+9	+34.8%
	経常利益		△5	△8	△2	—
グループ連結	経常収益		11,293	14,260	+2,966	+26.3%
	経常利益		740	812	+71	+9.7%
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益		504	548	+43	+8.7%

* 持株会社（連結財務諸表提出会社）、介護事業及びベンチャーキャピタル事業にかかる損益と内部取引調整。
FY18.2Qよりソニーフィナンシャルベンチャーズ、FY18.4QよりSFV・GB投資事業有限責任組合、FY19.2QよりSmartLink Network Europe B.V.を含む。

(注) 包括利益：FY18.3Q(9M)・・・385億円、FY19.3Q(9M)・・・485億円

		(億円)	19.3末	19.12末	前年度末比	
グループ連結	純資産		6,568	6,783	+215	+3.3%
	総資産		134,682	145,383	+10,701	+7.9%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

47

ソニー生命：要約財務諸表（単体）

(億円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	10,065	12,951	+2,886	+28.7%
保険料等収入	8,158	9,560	+1,402	+17.2%
資産運用収益	1,454	2,880	+1,425	+98.0%
利息及び 配当金等収入	1,244	1,345	+101	+8.1%
有価証券売却益	45	29	△16	△35.0%
為替差益	131	—	△131	△100.0%
特別勘定資産運用益	—	1,470	+1,470	—
経常費用	9,459	12,285	+2,826	+29.9%
保険金等支払金	3,443	3,798	+355	+10.3%
責任準備金等繰入額	4,236	6,555	+2,318	+54.7%
資産運用費用	324	327	+3	+1.0%
金融派生商品費用	7	195	+187	—
為替差損	—	31	+31	—
特別勘定資産運用損	227	—	△227	△100.0%
事業費	1,071	1,148	+76	+7.1%
経常利益	605	666	+60	+10.0%
四半期純利益	415	450	+34	+8.3%

(億円)	19.3末	19.12末	前年度末比	
有価証券残高	95,238	103,565	+8,326	+8.7%
責任準備金残高	92,684	99,230	+6,546	+7.1%
純資産	5,139	5,186	+46	+0.9%
その他有価証券 評価差額金	1,227	1,145	△81	△6.7%
総資産	103,801	112,466	+8,665	+8.3%
特別勘定資産	13,007	14,957	+1,950	+15.0%

(億円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期比	
資産運用損益 (一般勘定)	1,358	1,083	△275	△20.3%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

48

ソニー損保：要約財務諸表・種目別保険引受の状況



(億円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	862	905	+42	+4.9%
保険引受収益	847	888	+41	+4.9%
資産運用収益	15	16	+1	+7.7%
経常費用	789	829	+40	+5.1%
保険引受費用	584	613	+29	+5.1%
営業費及び 一般管理費	204	215	+10	+5.2%
経常利益	73	76	+2	+2.9%
保険引受利益	59	60	+1	+1.9%
四半期純利益	52	54	+1	+2.6%

(億円)	19.3末	19.12末	前年度末比	
責任準備金残高	1,278	1,359	+81	+6.4%
純資産	347	374	+26	+7.7%
総資産	2,196	2,248	+52	+2.4%

◆ 元受正味保険料

(注)「傷害」には医療保険を含む。

(百万円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	増減率
火災	244	1,408	+475.4%
海上	-	-	-
傷害	6,576	6,958	+5.8%
自動車	77,103	80,184	+4.0%
自賠責	-	-	-
合計	83,924	88,551	+5.5%

◆ 正味収入保険料

(百万円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	増減率
火災	68	793	-
海上	△0	0	-
傷害	6,653	6,769	+1.7%
自動車	76,865	79,964	+4.0%
自賠責	1,110	1,292	+16.3%
合計	84,699	88,818	+4.9%

◆ 正味支払保険金

(百万円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	増減率
火災	11	101	+813.2%
海上	10	△3	-
傷害	2,218	2,389	+7.7%
自動車	38,760	41,465	+7.0%
自賠責	1,030	1,015	△1.5%
合計	42,031	44,968	+7.0%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

49

ソニー銀行：要約財務諸表・格付け別有価証券残高



◆ 連結

(億円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	337	367	+29	+8.8%
経常利益	70	81	+11	+15.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	46	54	+7	+15.7%

◆ 単体

(億円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期比	
経常収益	305	331	+25	+8.5%
業務粗利益	179	196	+16	+9.4%
資金運用収支	172	183	+11	+6.5%
役務取引等収支	△23	△12	+11	-
その他業務収支	30	25	△5	△18.0%
営業経費	117	125	+8	+7.1%
業務純益	62	71	+9	+14.7%
経常利益	63	73	+9	+14.5%
四半期純利益	44	50	+6	+14.5%

(億円)	19.3末	19.12末	前年度末比	
純資産	872	905	+32	+3.7%
その他有価証券 評価差額金	39	45	+5	+14.4%
総資産	28,609	30,600	+1,991	+7.0%

◆ 格付け別有価証券残高 (単体)

(億円)	19.3末	19.12末	前年度末比	
AAA	2,966	3,293	+326	+11.0%
AA	773	624	△148	△19.2%
A	2,880	3,064	+184	+6.4%
BBB	244	306	+62	+25.4%
格付けなし	100	71	△28	△28.2%
合計	6,964	7,361	+397	+5.7%

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.

50

ソニー銀行：業績（社内管理ベース）

◆ 社内管理ベース

- ・ 資金収支：有価証券利息の増加や、住宅ローン残高の積み上がりにもなう貸出金利息の増加により、増加。
- ・ 手数料等収支：住宅ローンの手数料収入の増加などにより、改善。

(億円)	FY18.3Q (9M)	FY19.3Q (9M)	前年同期比	
業務粗利益	179	196	+16	+9.5%
資金収支* ¹ ①	189	197	+7	+4.1%
手数料等収支* ² ②	△19	△9	+10	-
その他収支* ³	9	8	△1	△14.2%
コアベース業務粗利益(A) =①+②	169	188	+18	+10.8%
営業経費等 ③	117	125	+7	+6.6%
コアベース業務純益 =(A)-③	52	62	+10	+20.2%

■ 社内管理ベース

損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

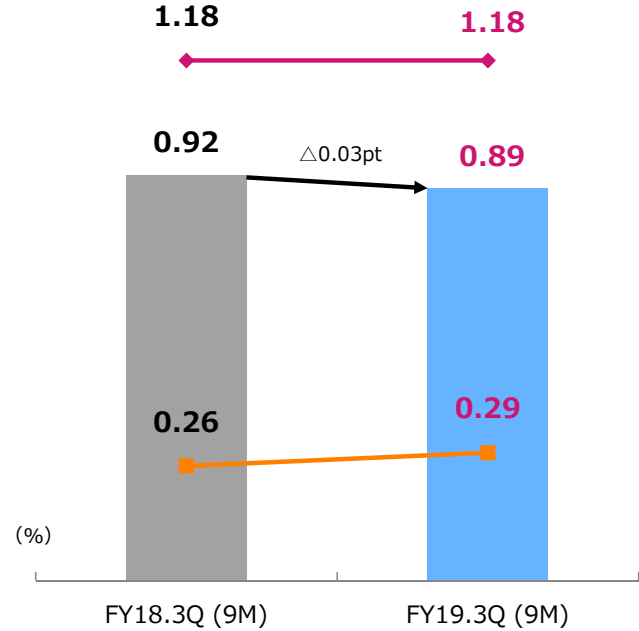
- *1 資金収支 …… 資金運用収支+その他業務収支に計上されている
実質的な資金運用にかかる損益（為替スワップ収益等）
- *2 手数料等収支 … 役員取引等収支+その他業務収支に計上されている
お客さまとの外貨売買取引にかかる収益
- *3 その他収支 …… その他業務収支から *1 と *2 の調整分を控除したもの
（主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益）

■ コアベース

社内管理ベースのその他収支（主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益）を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な利益を表すもの

参考 資金利ざや (社内管理ベース) の推移

◆ 資金運用利回り ■ 資金調達利回り ■ 資金利ざや



(注) 資金利ざや = 資金運用利回り - 資金調達利回り

Copyright © Sony Financial Holdings Inc. All rights reserved.



お問い合わせ先：

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 IR部
TEL：03-5290-6500（代表）